

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	第1回武蔵村山市市民協働推進会議
開 催 日 時	平成28年4月25日（月）午後6時45分～9時
開 催 場 所	ボランティア・市民活動センター会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：（委員）渡辺龍也、北口良夫、高橋誠、清野智美、比留間多一、 本間由美子、前田啓子、高尾典之、比留間毅浩 傍聴者：2名 （事務局）協働推進課長、協働推進課主査、協働推進課主事
報 告 事 項	委員の紹介
議 題	議題1 平成27年度武蔵村山市協働事業提案制度実施事業報告会及び評価等について 議題2 事業評価について
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1 平成27年度武蔵村山市協働事業提案制度実施事業報告会及び評価等について 事業実施団体から事業の報告を行い、各委員から事業について質疑応答を行った。 議題2 事業評価について 報告のあった2事業について、委員の意見交換等を行った。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) (発信者) □印：座 長 ○印：委 員 ●印：事務局 △印：提案団体 ▲印：市担当課 ◎印：一般参加者	議題1 平成27年度武蔵村山市協働事業提案制度実施事業報告会及び評価等について (平成27年度武蔵村山市協働事業提案制度実施事業報告会) 団体名：いつひよファミリー～with石田倫依 事業名：ひろげよう！子育て支援の輪プロジェクト 市担当課：子ども育成課 児童館グループ -実施団体による報告- 質疑応答 ○ 委員は団体から提出された報告書を資料として持っている。報告は報告書に基づいて行っていただきたい。 ○ 自己評価書の中で、「効率的なコストで事業運営できたか」という項目に3点が、「問題発生に際し、適切に対応したか」という項目に2点がつけられている。それぞれ理由を伺いたい。 △ 限られた予算で事業運営を行ってきた中で、従事するスタッフに十分な人件費を支払うことができなかった。労力や成果に見合う対価を支払うことができなかったので、3点とした。また、事業を市報に掲載する際に、市が考える掲載場所と団体が希望する掲載場所に違いがあったり、パンフレットを思うように配布できず、円滑に広報できなかった経緯があったので2点とした。話し合いを行い、現在は解決している。

- 1回あたりの参加者が増加しているという報告があったが、前年度と同じ予算、同じ人員体制で運営した結果参加者が増加し、満足度が向上しているならば、効率は上がっていると言えるのではないか。スタッフに十分な人件費が支払えたかどうかは別問題である。また、話し合いを行い現在は解決しているのであれば、適切に対応できたと言えるのではないか。問題があったかどうかを聞いている設問ではない。
- 報告は報告書に沿って行うよう、事務局から団体に促していただきたい。
- 協働事業終了後は本事業化を望んでいるという話があったが、具体的な展望を伺いたい。
- △ 協働事業を実施してきた中で、市民のニーズに沿った事業ができたと感じている。市が必要な事業として認めてもらえるなら、委託等の形で継続していただきたいと考えている。
- 虐待等の重大な案件は、各種関係機関や団体との連携が必要である。
- △ これまでも子ども家庭支援センター等と連携してきた。築いてきた関係を生かせると考えている。
- 市担当課の意見も伺いたい。
- ▲ 事業運営にあたり、話し合いを重ねながら1年間実施してきた。実際に見学をさせていただき、大変良い事業であると感じている。
- 今後に向けた考えを伺いたい。
- ▲ 情報共有をしっかりと行うことで事業を円滑に運営できると考えている。今年度も密に連携しながら取り組みたい。
- 児童館だけでは解決できない課題について、協働推進課において協力していただきたいとは、具体的にどのようなことか。
- ▲ 別の課が所管している施設へのチラシの設置や、他課との連絡調整のような全庁的なことは協働推進課にやっていただきたいと考えてこのように記載した。

団体名：むさし村山ストリートダンス協会

事業名：ムラッパーによる武蔵村山市認知度アップ作戦

-実施団体による報告-

質疑応答

- ゆるキャラグランプリはいつ実施しているのか。
- △ 毎年決まった日程はない。3か月程度の期間中に、人気投票を行うイベントである。
- 市非公認キャラクターとのことだが、市が公認キャラクターを作成した場合は、活動を止めるのか。
- △ 元々ストリートダンス協会のキャラクターとして作成したので、市公認のキャラクターが出来たとしても活動は継続していく。
- 着ぐるみはどこで作成しているのか。また金額はどの程度か。
- △ 複数の業者に見積もりを取り、総合的に一番良い業者に依頼して作成している。金額は1体50万円程度である。
- かつて勤務していた稲城市でもキャラクターを作成して市のPRに活用したことがあった。全国で上位に入ったこともあったが、その時

	<p>は市職員が一丸となって投票するなどしていた。本気で全国上位を狙うなら、全市的に取り組む必要がある。</p> <p>□ 協会の子ども達に夢を与えたいという話があったが、協働事業として実施するのなら、市全体の活性化やまちづくりに寄与しなければならない。対象が団体内に限られた事業ではいけない。</p> <p>□ 市外のイベントに出演して認知度の向上を図っているのは分かるが、市民への周知も強化し、存在を市全体に広めることも大切である。</p> <p>△ 今回の報告は提案に基づき市外へのPRに特化したものだったが、市内では、中学校の運動会への出演、自治会が主催する地域のイベントへの参加を多数行ってきた。協働事業では市外へのPRをメインに活動しているが、市内向けの啓発も行っている。</p> <p>○ 今後の展望として、お菓子メーカーとの連携を検討しているとある。</p> <p>△ 現状では、既製品にシールを貼る程度のことしかできていない。将来的には、キャラクターが入ったお菓子類等を作りたいという希望を持っている。</p> <p>□ 全国規模の大企業と連携することも良いが、地域に密着した事業として、地元企業との連携も考えていただきたい。</p> <p>○ 武蔵村山市の認知度を向上させることを目的としているが、現在の認知度を測るアンケート等は実施しているのか。</p> <p>△ アンケート調査等はしていないので、認知度に関する正確な数字は把握していない。</p> <p>○ アンケート調査等は実施すべきである。</p> <p>○ 名刺やパンフレットに、投票をお願いする文言やメッセージを入れてはどうか。また、ゆるキャラグランプリのURLやQRコードを載せるのも効果的ではないか。</p> <p>△ 今後の参考にさせていただく。</p> <p>議題2 事業評価について</p> <p>-非公開-</p> <p>その他</p> <p>● 次回会議は平成28年4月28日(木)午後6時から、ボランティア・市民活動センター会議室で開催する。</p>
--	---

<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p>□ 公開</p> <p>☑ 一部公開</p> <p>□ 非公開</p> <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <p>〔 事業の評価過程を明らかにすることで公正な事務を行えなくなるおそれがあるため。 〕</p> <p>傍聴者： 2 人</p>
--------------------	---

会議録の開示・ 非開示の別	<input type="checkbox"/> 開示 <input checked="" type="checkbox"/> 一部開示（根拠法令等：武蔵村山市情報公開条例第8条第5号） <input type="checkbox"/> 非開示（根拠法令等：）
------------------	--

庶務担当課	協働推進部 協働推進課（内線： 242）
-------	----------------------

（日本工業規格A列4番）